

3. 配置計画

■配置計画の方針

基本計画に掲げた「配置計画で特に重視する5点」に基づき、「真締川公園との一体整備」と「まちなみの連続性」を重視した配置計画（現駐車場部分に立体駐車場と1期庁舎を建設し、移転後、常盤通りのまちなみに配慮して現庁舎部分に2期庁舎を建設する2棟構成）とします。

常盤通りのバス停に2期庁舎が近接することで、バス利用者が雨天時や日差しのもとでも、快適な移動ができます。また駐車場の進入路は、比較的道路交通へ影響が少ない東側道路からの動線計画とします。

配置計画で特に重視する5点【基本計画】

- ①建設費を抑制するため、可能な限り仮設庁舎を利用しないこと
- ②敷地北側の住宅地への日影の影響など、周辺環境への配慮を行うこと
- ③「宇部市にぎわいエコまち計画」「宇部市景観計画」に則り、景観にぎわい形成に寄与すること
- ④新庁舎と駐車場・バス停とのアクセス性に配慮すること
- ⑤駐車場の進入路は、周辺道路状況に配慮した配置とすること



4. 平面計画

2階 〈市民窓口・税務署フロア〉

分かりやすい窓口配置
市民利用に便利な庁舎とするため
1～2階に窓口関連の部署を配置

**時間外・休日の開放可能な
エリア設定**

利便性を高める渡り廊下
2階から駐車場へ直接利用可能

**時間外・休日は開放可能な
階のみ停止**

**セキュリティに配慮しやすい
税務署の配置**
税務署と市庁舎は管理責任が異なるため、それぞれが管理しやすいセキュリティラインを計画

利用しやすい会議室を配置
会議室は、可動間仕切により会議の人数によりフレキシブルに使える仕様

6階〈機械室フロア〉

最上階に電気室・機械室
浸水対策として、最上階に電気室、機械室を集約配置

5階〈議会・執務フロア〉

柔軟に対応可能な会派別控室
人員の増減に対応可能な構成

議会動線と傍聴動線を分離

4階〈執務フロア〉

柱のない大空間執務スペース
ワンルーム空間で組織変更に柔軟に対応できる整形プラン
階段・エレベーター・トイレ
上下階をつなぐ階段やエレベーターはアクセスしやすい中央部に計画

3階〈執務フロア〉

車いす対応の窓口カウンター

どの部署からも使いやすい会議室
少人数での打合せができる会議スペースを中央に配置

災害対策本部となる会議室
執務室に隣接して災害対策本部として利用できる会議室を配置

WC→トイレ
EV→エレベーター
▶ 建物出入口
S=1:1200

1階 〈市民窓口・市民活動交流フロア〉

市民ワークショップで検討しました！
平成29年5月～9月に開催した市民ワークショップでは、基本計画で導入すべきとした「市民活動支援機能」と「まちづくり拠点機能」について議論を行ってまいりました。

【まちづくり拠点機能】
1期庁舎と2期庁舎の間の中庭空間である「宇部広場」は、宇部まつり等に活用できる広場とし、常盤通りからイベントが見えるような形状にしました。

【市民活動支援機能】
「多目的ホール」は、本格的なホールを望む意見と他の公共施設があるため無駄という意見とに分かれたこと、全体として複数の機能を兼ねた場づくりを望む声が多かったことから、本格的なホールは設けず、各機能が相互連携しやすく仕切りのないワンルームラウンジ型にまとめました。

市民ワークショップでまとめたコンセプト
「みんなで使うまちなかの大きなロビー」



緑地帯の確保
北側隣地とは緑地帯を設け
プライバシーに配慮

立体駐車場
敷地の高低差を利用することで
全体の高さを低く抑えた計画、
駐輪場も併設

**時間外・休日は開放可能な
階のみ停止**

**時間外・休日に開放可能な
エリア設定**

雨に濡れずに利用できる車寄せ
車やタクシーで来庁した際に
雨に濡れずに利用可能
障害者等用駐車場も併設

市民活動交流スペース
多くの市民が気軽に利用できる場、
打合せスペースや掲示スペース、
カフェ等を予定